在宅医療支援システム研究会次第

日時 平成29年6月27日(火) 18時30分~ 場所 介護老人保健施設くろかみ 研修室

1	開会					
2	あいさつ					
3	報告•紹介事項					
	(1)遠隔医療学会関係情報					
	(2)在宅医療・介護連携支援センターまんさく から					
	(3) その他					
4	協議事項					
	(1) にいみ広域遠隔会議システム 利用アンケートについて					
	(2) その他					
5	その他					
	次回開催日 平成29年7月 日()					

新見地域の遠隔医療・多職種連携の取り組み

	新見医師会	新見市	備北保健所新見支所	
平成12年		·地域情報化計画策定		
度 平成13年 度				
平成14年 度		・阿新広域情報通信ネットワーク完成(光 ファイバー網設置、公共施設中心に316施 設末端機器導入)		
平成15年 度	・事業計画大綱にIT事業の推進を明文化		・阿新地域リハビリテーション広域支援センター地域部会(代表者会)設置	
平成16年 度	・在宅医療支援システム研究会発足・遠隔医療開始・テレビ電話・携帯型遠隔通信端末(医心伝信)・無線ラン中継車開発	・「下水道FTTH事業」運用 (市内約200世 帯に光ファイバー接続)		
平成17年 度	•遠隔医療力一ト開発	・「ラストワンマイル事業」開 始 (管内全世帯(約12000 世帯)へ光ファイバー接続可	・新見地域リハビリテーション広域支援センター設置(1市4町合併により名称変更)	
平成18年 度	・医心伝信2・スケジュール管理システム 開発	世帝)へ光ファイバー接続可		
平成19年 度			・新見地域リハビリテーション連絡協議会 (実務者会)発足・新見版情報共有書発案	
平成20年 度	・医心伝信3・設置型テレビ電話端末(万事 万端)開発・新見地域在宅医療支援システム研究会 発足	「平成20年度新見あんしんねっと事業」	·新見地域医療連携推進協議会(代表者 会)発足	
平成21年 度		・総務省地域ICT利活用モデル構築事業 「平成21年度新見あんしんねっと事業」	・新見地域医療ネットワーク(実務者会)発 足 ・地域連携窓ロー覧作成	
	・新見版情報共有書入力支援版作成	·平成22年度新見市遠隔医療推進事業	・新見版情報共有書アンケート実施	
平成22年 度		・地域ICT利活用広域連携 事業「新見あんしんねっと広 域連携事業」(事業主体新 見市及び高梁市:代表新見		
平成23年 度		・平成23年度地域ICT広域 連携事業(平成23年度一部		
	・厚生労働省モデル事業「在宅医療連携拠点事業」(H24年度) ・Z連携開発 ・スカイプによるテレビ会議の実証実験 ・在宅医療連携ガイド作成	・新見地域医療ミーティング発足	・新見版情報共有書アンケート調査	
平成25年 度	・Z連携に遠隔医療機能追加 ・「岡山県在宅医療 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
平成26年 度	(H26.3~H28.3 兼		・終末期医療アンケート調査	
平成27年 度			・広域連携アンケート調査	
	・新見市在宅医療・介護連携推進事業一部受託(H28.4~) ・備北保健所「にいみ遠隔ケア会議・広域連携モデル事業」受託(H28年度) ・ウェブ会議の実証実験 ・新見版情報共有書アンケート実施	·新見市在宅医療·介護連携推進事業(H 28.4~)		
平成29年 度	・新見市「情報連携システム推進 事業」受託(H29年度~)	・ネットワーク事務局	・28年度末を持って、ネットワーク事務局を 新見市へ移管	

にいみ広域遠隔会議システム運用実績 平成29年度

依頼元	日付	時間	内容	連携先	参加者
渡辺病院	4.17	10:30~11:00	退院前調整会議	渡辺病院 ①自宅	病院リハ ①本人・家族・ケアマネ・msw・デイ・福祉用具
川大	4.19	15:30~16:30	訪問看護指示	訪看くろかみ ⇔①川大連携室	訪問看護師 ①msw·病院看護師
渡辺病院	4.19	16:30~16:50	転院後の経過報告	渡辺病院 ⇔①倉敷中央病院	msw ①地域連携室職員4名
渡辺病院	4.20	15:00~15:30	サービス担当者会議	渡辺病院 ⇔①自宅	msw・PT ①本人・家族・デイ・ケアマネ・福祉用具・訪問看護
渡辺病院	4.24		転院者の情報交換	渡辺病院 ⇔①川大連携室	医師·msw·OT·PT ①地域連携室職員
渡辺病院	5.1	14:00~15:00	退院前訪問時の車内での体調確認	渡辺病院 ⇔①移動車中から自宅(法曹)	医師 ①msw·本人·家族·看護師
川大	5.18	14:00~15:00	退院者のパウチ交換方法の伝 達	訪看くろかみ ⇔①川大連携室	訪問看護師 ①連携室担当職員
くろかみ居宅	5.24	13:30~14:00	サービス担当者会議	自宅(菅生) ⇔①くろかみ通リハ	本人・家族・ケアマネ ①通リハ職員・OT
くろかみ通りハ	6.1	13:30~14:00	通所リハビリ会議	老健〈ろかみ ⇔①中央居宅 ②オレンジデイ	本人・家族・通所リハ関係職員 ①ケアマネ ②ディ
神郷居宅	6.13	13:30~14:00	通所リハビリ会議	渡辺病院 ⇔①神郷居宅	本人・通所リハ関係職員 ①ケアマネ
渡辺病院	6.18		倫理審査会	渡辺病院 ⇔①大学(東京)	PT ①大学教員
くろかみ居宅	6.22	17:00~17:40	サービス担当者会議	くろかみ居宅 ⇔①自宅(神郷)	ケアマネ ①本人・家族・福祉用具・デイ
くろかみ居宅	6.26	16:30~17:00	サービス担当者会議	くろかみ居宅 ⇔①自宅(新見)	ケアマネ ①本人・家族・福祉用具・デイ
くろかみ通りハ	6.26	14:30~15:00	通所リハビリ会議	老健くろかみ ⇔①神郷居宅	本人・家族・通所リハ関係職員 ①ケアマネ
新見中央病院	6.29(予 定)	10:00~	退院前調整会議	倉敷中央病院 ⇔①自宅(法曹)	倉敷中央病院関係職員 ①本人・家族・ケアマネ・訪問看護・新見中央病院関係職員

にいみ広域遠隔会議システム運用実績 平成29年度

依頼元	日付	時間	内容	連携先	参加者

医療・介護関係事業所等 管理者 様

(新見市在宅医療・介護連携推進事業受託団体) 一般社団法人新見医師会 会長 太田隆正 (公印省略)

Z連携研修会の開催について

(ご案内)

平成29年度 Z連携研修会を下記により開催します。

つきましては、人数制限は設けておりませんので、実務に携わっておられる職員の多数のご参加をよろしくお願い致します。

なお、Z連携未参加の皆様にもご参加いただければ幸いです。

記

1 日時:平成29年7月26日(水) 18:30~20:30

2 場所: JA阿新 生活センター 2 階会議場

3 内容:〇機能説明

- ・Z連携の機能説明(TLS1.2対応等)
- ・にいみ広域遠隔会議システム(テレビ会議)の事業報告、機能説明
- 〇取組紹介
 - ・
 Z連携を利用した連携事例の紹介
- ○説明及び体験
 - Z連携を利用した遠隔会議体験
 - ※ Z連携を利用した新見版情報共有書の共有とテレビ会議を体験して 頂きます。
- 〇質疑応答
- 〇意見交換会 「ICT を活用した情報共有について」
- 4 対象:医療・介護関係者(実務に携わっておられる方以外でも参加できます。)
- 5 申し込み方法等:メール又は FAX (別紙) 締切 平成29年7月18日 (火)
- 6 その他:お茶のみご用意いたします。
- ※開催通知、申込用紙については、新見地域在宅医療支援システム研究会(旧新見医師会在宅医療連携拠点まんさく)ホームページからもダウンロードしていただけます。
- ※ Z 連携とは、I C T を活用したアルタイムな情報共有を図ることを目的に、新見地域の医療・介護従事者のご要望に応える形で当医師会が開発した多職種連携ツールです。

Ⅱ. オープンなネットワークで接続されている場合

いわゆるインターネットによる接続形態である。現在のブロードバンドの普及状況から、オープンなネットワークを用いることで導入コストを削減したり、広範な地域医療連携の仕組みを構築したりする等、その利用範囲が拡大していくことが考えられる。この場合、通信経路上では、「盗聴」、「侵入」、「改ざん」、「妨害」等の様々な脅威が存在するため、十分なセキュリティ対策を実施することが必須である。また、医療情報そのものの暗号化の対策を行わなければならない。すなわち、オブジェクト・セキュリティの考え方に沿った対策を施す必要がある。

ただし、B-2の冒頭で述べたように、オープンなネットワークで接続する場合であっても、 回線事業者とオンラインサービス提供事業者が、これらの脅威の対策のためネットワーク 経路上のセキュリティを担保した形態でサービス提供することもある。医療機関等がこの ようなサービスを利用する場合は、通信経路上の管理責任の大部分をこれらの事業者に委 託できる。そのため、契約等で管理責任の分界点を明確にした上で利用することも可能で ある。

一方で、医療機関等が独自にオープンなネットワークを用いて外部と個人情報を含む医療情報を交換する場合は、管理責任のほとんどは医療機関等に委ねられるため、医療機関等の判断で導入する必要がある。また、技術的な安全性について自らの責任において担保しなくてはならないことを意味し、その点に留意する必要がある。

オープンなネットワーク接続を用いる場合、ネットワーク経路上のセキュリティの考え 方は、「OSI (Open Systems Interconnection) 階層モデル※」で定義される 7 階層のうち、 どこの階層でセキュリティを担保するかによって異なってくる。OSI 階層モデルを基本と したネットワーク経路上のセキュリティの詳細については「「医療情報システムの安全管理 に関するガイドライン」の実装事例に関する報告書」(保健・医療・福祉情報セキュアネットワーク基盤普及促進コンソーシアム: HEASNET; 平成 19 年 2 月)が参考になる。

※OSI 階層モデル(Open System Interconnection)

開放型システム間相互接続のことで、異種間接続を実現する国際標準のプロトコル。

第7層	アプリケーション層	FTPやMail等のサービスをユーザに提供
第6層	プレゼンテーション層	データを人に分かる形式、通信に適した形式に変換
第5層	セッション層	データ経路の確立と開放に関係する層
第4層	トランスポート層	データを確実に届ける為に規定されている層
第3層	ネットワーク層	アドレス管理と経路の選択ための層
第2層	データリンク層	物理的通信経路の確立するために規定されている層
第1層	物理層	ビットデータを電気的、物理的に変換。機器の形状・特性を規定している層

例えば、SSL-VPN を用いる場合、5 階層目の「セッション層」といわれる部分で経路の暗号化手続きがなされるため、正しく経路が暗号化されれば問題ないが、経路を暗号化する過程で盗聴され、適切でない経路を構築されるリスクが内在する。また、偽サーバへの

対策が不十分なものが多いため、医療情報システムでは原則として使用するべきではない。 一方、IPsec を用いる場合は、2 階層目若しくは3 階層目の「ネットワーク層」といわれる 部分より下位の層で経路の暗号化手続きがなされるため、SSL-VPN よりは危険度が低いが、 経路を暗号化するための暗号鍵の取り交わしに IKE (Internet Key Exchange) といわれる 標準的手順を組み合わせる等して、確実にその安全性を確保する必要がある。

また、IPsec を用いた VPN 接続等によるセキュリティの担保を行わず、インターネット等のオープンなネットワークを介し、他の医療機関や患者等が医療情報システムへ接続する場合は、HTTPS による暗号化等が求められる。しかし、昨今 SSL/TLS においてプロトコルやソフトウェアの脆弱性を突いた攻撃の報告が相次いでおり、SSL/TLS を適切に利用しなければ接続に HTTPS を用いても安全性を確保することができない。SSL/TLS を利用する上での適切な設定方法として、CRYPTREC が作成し情報処理推進機構によって発行された「SSL/TLS 暗号設定ガイドライン」にて指針が示された。「SSL/TLS 暗号設定ガイドライン」にて示される設定をすることで、SSL/TLS への既知の攻撃から、一定の安全性を確保することができる。「SSL/TLS 暗号設定ガイドライン」では3段階の設定基準が定められており、そのうち最も安全性水準の高い「高セキュリティ型」の設定を反映することでSSL/TLS への攻撃リスクを低減する必要がある。なお、「高セキュリティ型」の設定の一つとして、利用可能なプロトコルバージョンを TLS1.2 に限定する必要があり、サーバ・クライアントともに TLS1.2 をサポートしていることが必須となることに注意されたい。加えて、オープンなネットワークの場合、不特定の端末から接続されるリスクがあるため、対策の一つとして TLS クライアント認証を行う必要がある。

さらに、オープンネットワークで接続する場合には、ソフトウェア型の IPsec や TLS1.2 によるセッションそのものが安全でも、他のオープンネットワークのセッションが同居できるため、ネットワークに接続している機器やシステムが標的型メール等の攻撃にさらされるリスクがある。仮に、このような攻撃によってネットワークに接続する端末等がマルウェアに感染し、遠隔操作が可能になると、IPsec や TLS1.2 によるセッションへの正規のアクセスが発生し得る。

よって、ソフトウェア型の IPsec や TLS1.2 の高セキュリティ型を採用しており、その端末にオープンネットワークに対する開放されたポートがある場合には、セッション間の回り込み(正規のルートではないクローズドセッションへのアクセス)等による攻撃からの防護について、適切な対策を実施する必要がある。

ソフトウェア型のIPsecやTLS1.2による接続は、適切な経路設定を行うことで、セッション間の回り込みを回避することが可能である。一般社団法人保健医療福祉情報安全管理適合性評価協会(HISPRO)の「支払基金等へのレセプトオンライン請求用 IPsec+IKE サービス」チェックリスト項目集が参考になる。

※「支払基金等へのレセプトオンライン請求用IPsec+IKEサービス」チェックリスト項目集 http://www.hispro.or.jp/open/pdf/200909OnRece%20koumoku.pdf

平成29年度 第1回

ケアマネジャー大会(第1回記念大会)

~制度改正に向け一致団結!みんなで頑張りましょう!~

平成30年度の医療介護同時改正まで、あと1年を切りました。

また今年度から新総合支援事業が県下全市町村で開始となり、私たちはより一層、多角的な視点からを支援する役割を担うことになりました。

この研修では、いち早く実施に取り組んだ倉敷市より保健福祉局参与の吉田氏より基調講演、そして 各支部からの地域づくりの実践事例発表を通じ、情報共有を行います。更に堀部会長より、新たな情報 提供をいただきます。必聴です。

そして今回の第1回記念大会は…なんと!最後にイベントがあります。

乞うご期待!是非、ふるってご参加ください!(賞品がゲットできるかもです!?)

- 1. 日 時 平成 29 年 8 月 8 日 (火) 10: 00~16:15 (受付 9:30~)
- 2. 場 所 岡山市民会館 (岡山市北区丸の内2-1-1)
- 3. 内 容

午前

☆基調講演 「テーマ〇〇」

倉敷市保健福祉局参与 吉田昌司氏

☆実践事例発表

· O O 支部 · O O 支部 · O O 支部

午後

☆情報提供 「テーマ〇〇」

岡山県介護支援専門員協会 会長堀部 徹 氏

☆参加者向けイベント「

- 4. 対 象 医療・介護・福祉関係者 どなたでも参加できます。
- 5. 参加費 日本協会会員 〇〇〇〇円、岡山県協会会員〇〇〇〇円、非会員〇〇〇〇円
- 6. 申込〆切 平成29年7月〇日(〇曜日)
- 7. その他 ・この研修は<u>岡山県主任介護支援専門員更新研修の法定外研修に該当します。</u> 終了証明カード(水色用紙)を忘れずにお持ちください。
 - ・<u>当日はバーコードでの受付を行います。</u> 「岡山県介護支援専門員協会 会員証」を必ずお持ちください。
 - ・<u>当日、会場ホール内での飲食は禁止となっております。</u> ホール外、または屋外での飲食をお願いいたします。
- 8. お問合せ NPO 法人岡山県介護支援専門員協会 事務局 (電話:086-953-4953)

新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく 宛

FAX

0867-71-0309

E-mail

mansaku@kurokami.jp

にいみ広域遠隔会議システム(試案) 利用アンケート

, ,	利用された会議はなんですか?下記より一つ選択し サービス担当者会議 ・ 通所リハビリ会議 その他()		-	
2		んで下さい。 	改 •	本人
ſ	にいみ広域遠隔会議システム(試案)の使用方法に ○で囲んで下さい。			
(だいやすかった ・ まぁまぁ使いやすかった ・ どちら にいみ広域遠隔会議システム(試案) についてどう			
(1)	んで下さい。 とても便利 ・ まあまあ便利 ・ どち			
(5)				
	得られると思いますか? 時間の短縮()分 ・ 費用の削減 その他(
6	にいみ広域遠隔会議システム(試案)をまた使用した	たいと思いますか	?	
	とても思う ・ まぁ思う ・ あまり!	思わない・	思わない	`
7	にいみ広域遠隔会議システム(試案)を使用した感	想等があれば、ご	自由にお書	き きください。
8	にいみ広域遠隔会議システム(試案)について、シ ありましたら、ご自由にお書き下さい。	ステム改修へのご	要望やお気	気づきのことが

新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく 宛

FAX

0867-71-0309

E-mail

mansaku@kurokami.jp

にいみ広域遠隔会議システム 利用アンケート

① 会議利用日時月日(): ~::	
② 利用された会議はなんですか?	
③ 会議参加者の職種を記入して下さい。(例:本人・家族・ケアマネ・msw・デイ相談員等) こちら側	
相手側 1 「	
相手側2	
④ にいみ広域遠隔会議システムの使用方法についてどうでしたか?下記より一つ選択し○で囲んで下さ 使いやすかった ・ まぁまぁ使いやすかった ・ どちらかというと使い辛かった ・ 使い辛かった	
⑤ にいみ広域遠隔会議システムについてどう思われますか?下記より一つ選択し○で囲んで下さい。とても便利 ・ まあまあ便利 ・ どちらかというと不便 ・ 不便	•
⑥ にいみ広域遠隔会議システムを使用して、どのような効果が得られましたか? 「	
⑦ にいみ広域遠隔会議システムをまた使用したいと思いますか?	
とても思う ・ まぁ思う ・ あまり思わない ・ 思わない	
⑧ にいみ広域遠隔会議システムを使用した感想等があれば、ご自由にお書きください。	
	,
⑨ にいみ広域遠隔会議システムについて、システム改修へのご要望やお気づきのことがありましたら、 自由にお書き下さい。	